

世界一か、こいひカマキリ

三年 みや田 あい花

今、私は世界一か、こいひハルカマと言う
カマキリを飼っているんだ。ハルカマはオオ
カマキリのメスでお姉ちゃんのはるかちゃん
みたいにほっそりさんだったから、ハルカマ
と名付けた。実は、ハルカマは成虫になる最
後の脱皮に失敗しちゃったんだ。

「ハルカマどっしたのかな？」

足かくねくねになっちゃって、せかくの

羽もくしゃくしゃ。首も曲がって、朝私が見
つけた時には、下に落ちて横たわってた。6
月にうちに来てから、ケースの天井にさかさ
まにくっついていたり、がへトコトコ歩きまわる
トコトコさんしやバツタをとりにかへき上り
下りできていたハルカマが。足をジタバタさ
せてとても苦そう。

後で調べたら、水や羽化の足場、広さ、体
力がないと、羽化を失敗してしまうことが多
いという事が分かった。知らなくて、ごめん

すごく悲しい。

二日後、はるかお姉ちゃんか勇気を出して素手で口元にオンブバッタのオス（小さいからおやつちゃんしを近づけたら、食べてくれた。ビツクリ。うれしい。

その後、松ぼっくりや木の枝を入れてつかまりやすいようにした。ハルカマは自分でリハビリを毎日毎日がんばっていた。すると、カマがなんとか使えるようになった。オンブバッタのメスへ大きいからごはんちゃん（人）を

自分で押さえつけて食べられた。トコトコさん、調べたりチョウゴクミミがサハゴロモという外来種だった。だから町田の自然環境のためにハルカマにたくさん食べてもらった。そして枝の一番上まで登れるようになった。すごくねばり強い。かんばり屋さん。

夏休み、置いて行くと死んでしまっから、神戸や滋賀のいいじとはあはの家にも新かん線で連れて行ったよ。私はお気に入りリユヅクに鉢底ネットです場を作ったハルカマの

虫かごを入れて、指っこでそお。と歩いた。
キャンプではシヨウウリヨウウバツタのメスへ大
もりごは人ぢゃんしもあげたら、お腹の中に
オレンジ色の卵を見つけた。栄養があるから
元気になっしてくれそう。そしてなんと、船で
三重の答志島にも一緒に行った。伊勢神宮に
も行っで、一番にハルカマが元気になるよう
に、長生きできるようにお祈りしたよ。

私はオンブバツタやイナゴを、がんばって
つかまえて毎日あげた。私は虫が怖いから軍
手と長ズボンで、いっぱい汗をかいたよ。普
通のカマキリは、足や羽を落として食べ残す。
もったいない。ハルカマは目のおそりじがで
きなくなっで見えにくいのかも。しれない。け
れど、口までおはして虫を持っでいくとちゃ
んと食べてくれる。落とした足も、口でさぐ
って残さず食べる。私がマドラーのスプーン
で水をあげたら飲んでくれる。とってもえら
い。そしてある日、ヤブキリの幼虫をあげた
ら、茶色くて細長いウニヨウニヨウ動くムシが

出てきた。ハリがネムシはカマキリだけじゃなく、バッタのお腹にもいると知った。

卵を産んだり弱ると勉強したから、オスには会わせなかつた。食べすぎもいけないらしいので、二日に一回のエサにしたのにお盆休み後に、三回も無精卵をうんじやつた。すごいなあ。見られてうれしかつたけれど、つかれちゃりから無理して産まないで。二時間もかけて卵を産んだり、フラフラになっていた。

調べたり、カマキリの成虫の平均寿命は一ヶ月という答えが多い。はく物館の昆虫展にも行って、学芸員さんにハルカマの相談をした。普通よりストレスがあるから、寿命が短くなるかも知れないと教えてもらった。それなのに、成虫になつてから二ヶ月半も生きてくれてうれしい。これからも元気に長生きしてほしいな。ハルカマはたくさんのことを命をかけて私に教えてくれてる。ありがとう。大好き。